

港区立青山小学校
令和6年度 2年生授業改善推進プラン

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<p>① 漢字、平仮名、片仮名を正しく読み書きし、文章の中で使うとともに言葉の意味を正しく理解して語彙を豊かにする。</p> <p>② 伝えたい事柄や相手に応じて声の大きさや速さを工夫するとともに、話を集中して聞き、内容を捉えて感想をもつ。</p> <p>③ 文章の内容と経験を結び付けて感想をもったり、様子を表す言葉に着目して行動を具体的に想像し表現したりする。</p>	<p>① 練習したすぐ後には書くことができるが、時間が経つと忘れてしまう児童が多い。ノートなどの記入の際に、既習の漢字を使って文章を書く意識が低い。</p> <p>② 教室全体に聞こえる声で自分の意見を発表できる児童が少ない。また、人の話を自分事として集中して聞く力が弱く、同じ質問を何度もする傾向がある。</p> <p>③ 一つの言葉から想像力を膨らませたり、自分の経験と結び付けたりする力が弱い。考えたことを適切な言葉を用いて伝えることが苦手な児童がいる。また、文章を読んで自分が思ったことや感じたことを具体的に表現する力が弱い。</p>	<p>① 漢字ドリルを活用して学習内容の定着率を確認する。定着が不十分な漢字や片仮名を使って作文したり、漢字集め等を行ったりして定着を図る。</p> <p>② ペアやグループ、全体などで話し合う機会を作り、場に応じた声の大きさを身に付ける。また、メモを取りながら聞いたり相手に質問をしながら聞いたりするようにし、集中して内容を聞き取る練習を行う。</p> <p>③ 叙述に着目しながら読み、言葉の意味を丁寧に説明することで想像力を膨らますことができるようにする。また、思ったことや考えたことを言葉で書いてから伝えるようにすることで、自信をもって表現できるようにする。</p>

	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、 学習評価等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	<p>① 数を単位として捉え、相対的な大きさについて理解するとともに、数量関係に着目して計算する。</p> <p>② 身の回りのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で量の大きさを比べたり表現したりする。</p> <p>③ 学習したことを日常生活に生かす。</p>	<p>① 数の大きさの概念が理解できていなかったり、まとまりとして考えたりできていない児童がいる。また、加法や減法の計算で指や具体物を使わないと正確に解けない児童も見られる。</p> <p>② 量感が乏しく、かさや長さの単位を適切な場面で使用することが難しい児童がいる。</p> <p>③ 学習内容と日常生活が結び付いていないために教科書で出てくる場面が自分の生</p>	<p>① 数の大きさをお金などの具体例で示したり、位で確認したりすることで量感をもって考えられるようにする。また加法や減法の計算の仕方を理解するために、声に出してやり方を唱えたり説明したりしていく。</p> <p>② 長さや量の学習では、具体物の操作を行い、体感できる活動を取り入れる。既習の内容と比べながら考えられるよう、単元の中でこれまでの学習を想起させる場面を多く設ける。</p> <p>③ 学習した内容が日常生活のどんな場面で活用されているのかを意識できるよう、皆で経験をもとに事例を探す時間を設け</p>

		活のどこで使われているのかをイメージできない児童がいる。	る。
--	--	------------------------------	----

生活	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 身近な人々や環境、自然に関心を持ち、分かったことや気付いたことを工夫して表現し伝えることができる。	① 身の回りの自然や環境に興味関心をもてない児童がいる。そのため、季節の変化に気付いたり成長の様子を比べたりする力が弱い。分かったことなどを適切な表現方法を用いて説明したり、感情移入して考えたりする力に差が見られる。	② 児童の興味関心に応じた、地域の環境を生かした学習を進める。そのために教材になる環境や場面の調査、発掘を行う。また、見つけたことや気付いたことをこれまでと比較しながら絵や文章で表現できるよう、ワークシートを工夫したり個人でまとめる時間と全体でまとめる時間を分けて設定する。

体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 運動に親しむとともに決まりを守って誰とでも仲良く運動する。また健康・安全に留意したり、意欲的に粘り強く運動をしたりすることができる。	① 決まりを守って運動遊びに取り組んだり、友達と譲り合ったり協力し合ったり取り組む力が極端に弱い児童がいる。また、苦手な活動や興味の低い活動に粘り強く取り組めず、すぐに諦めてしまう傾向がある。	① 用具の操作をスモールステップで行いできる活動を増していくことで粘り強く取り組めるようにする。また、多様な動きを取り入れ、ルールある集団での運動遊びなどの学習を設定することで、誰とでも協力して取り組む意識を高めていく。

国際	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 外国語の表現に関心を持ち、楽しくコミュニケーションを図ろうとする。	① 活動に楽しく参加できる児童も多いが、粘り強く繰り返し行う力が弱い。話を集中して聞けないため、繰り返し練習しても自分事として捉えておらず、内容が定着しない児童も多い。	① 同じ表現を楽しみ活動で繰り返し発音したり体を動かしたりしながら練習することで自信をもって表現できるようにする。必然性のある外国語の学びが大切であり、今後活用できるように各単元の最終ゴールを明示して繰り返し練習する。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 多様な価値を認めるとともに、自分の生活を振り返り、日常生活に生かしていこうとする態度。	① 何がよいか、など頭の中では理解できているが実生活と結び付いていない。また、多様な価値観を受け入れられず、自分の考えを貫く傾向があり、対話をしながら自分自身と向き合って考える意識が低い児童もいる。	① 場面を想像し、自分事として捉えられるような課題の提示を工夫する。どうしてやってはいけないのか、など単刀直入に聞き、その答えをもとに児童の深層に迫る発問をしていく。少人数で考えを伝え合う活動を行うことで自分の考えとの相違点に気づき、様々な考えがある中でどのように生活していくとよいのかを考える場面を設ける。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学級活動、学校行事等の課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	① 自分たちの学級を自分たちでよりよくしていこうとするための具体的な取組を話し合っ決めていく。	① 話し合いの中で他者の意見を受け入れられず、折り合いをつけることができない。自分の思いを優先してしまい、全体のことを考えて動くことが難しい児童がいる。	① 学級で取り組む活動について話し合い、実践して振り返りをするを通して、協力する大切さや難しさを実感させる。合意形成をする話し合いの場を設けていく。